

障害者福祉システム等標準化検討会 第2回議事概要

日時：令和4年8月18日（木）13:30～15:00

場所：日本コンピューター株式会社 東京本社セミナールームA・B 及び WEB会議

出席者（敬称略）：

（座長）

出席 生田 正幸 関西学院大学大学院 人間福祉研究科 講師（非常勤）

（構成員）

欠席 後藤 省二 株式会社地域情報化研究所 代表取締役社長

代理 森 健太郎 東京都福祉保健局障害者施策推進部精神保健医療課 課長代理

代理 岸田 洋二 東京都福祉保健局障害者施策推進部地域生活支援課 課長代理

代理 安達 美和子 東京都福祉保健局障害者施策推進部施設サービス支援課 統括課長代理

出席 高橋 英之 大阪府福祉部障がい福祉室地域生活支援課長

出席 鈴木 孝 小山市総務部情報政策課長

代理 新宅 怜夫 千葉市保健福祉局高齢障害部障害者自立支援課

出席 國澤 一彦 船橋市健康福祉局福祉サービス部障害福祉課 課長補佐

出席 浅野 和成 葛飾区政策経営部情報システム課長

代理 杉谷 隆行 二宮町健康福祉部福祉保険課

代理 坂本 匠 株式会社RKKCS 企画開発本部 次世代システム開発部 課長代理

出席 井上 和彦 Gcomホールディングス株式会社 導入管理部 第3導入管理課長

出席 井澤 聡 株式会社TKC ユーザ・インターフェイス設計部 チーフ

出席 関 裕哉 株式会社電算 ソリューション3部 主幹

出席 佐藤 亮介 株式会社アイネス DX開発本部 WR開発部長

代理 長井 陽菜 株式会社IJC システム事業本部 情報システム部 パッケージシステム課
係長

出席 近藤 誠 日本電気株式会社 社会公共ソリューション開発部門 主任

出席 福田 佳孝 富士通Japan株式会社 行政ソリューション開発本部
社会保障ソリューション事業部 第一ソリューション部
シニアマネージャー

（オブザーバー）

欠席 伊藤 豪一 デジタル庁 プロジェクトマネージャー

出席 前田 みゆき デジタル庁 プロジェクトマネージャー

出席 橋本 泰明 デジタル庁 地方業務システム標準化エキスパート

欠席 與那嶺 紗綾 デジタル庁 地方業務システム標準化エキスパート

出席 丸尾 豊 デジタル庁統括官付参事官付 参事官補佐

出席 水村 将樹 デジタル庁統括官付参事官付 参事官補佐

出席 渡辺 裕美 デジタル庁統括官付参事官付

欠席 羽田 翔 総務省自治行政局住民制度課デジタル基盤推進室 理事官

出席 巢瀬 博臣 厚生労働省政策統括官付情報化担当参事官室 室長補佐

- 出席 島添 悟亨 厚生労働省政策統括官付情報化担当参事官室 室長補佐
保険局保険課 老健局介護保険計画課 社会・援護局障害保健福祉部企画課
併任
- 出席 矢田貝 泰之 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長
- 出席 天野 吉臣 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課 課長補佐

【議事次第】

1. 開会
2. データ要件・連携要件等の状況について
3. 5月WT後の対応概要について
4. 標準仕様書 2.0版案の決定について
5. その他

【議事概要】

○大阪府

- ・（資料3「5月WT後の対応概要について」28ページ）障害者手帳事務について標準化対象事務政令に規定するよう調整中との説明があったが、今後の見通しについて教えていただきたい。
⇒（事務局）標準化対象事務政令は令和4年12月以降に改定される予定と伺っているが、厚生労働省障害部よりご説明をお願いしたい。
⇒（厚生労働省障害部）事務局からの説明にあったとおり、現時点では標準化対象事務政令に規定できるよう調整中であり、規定することが決定しているものではない。令和4年12月までには確定できるよう進めているため、それまでお待ちいただきたい。
⇒（大阪府）標準化対象事務政令に規定するにあたり、ボトルネックになっているものがあれば教えていただきたい。
⇒（厚生労働省障害部）現時点ではボトルネックとなるような課題については上がっていない。政令制定における調整などスケジュールの問題であると認識している。

○船橋市

- ・（資料3「5月WT後の対応概要について」10ページ）公的給付支給等口座に伴う帳票レイアウトの対応について、事務局の説明にあった懸念点のとおり、誤った申請がされる可能性がある。そのため、例えば、マイナポータルへ口座を登録されているかを確認できるような表現に変更はできないか。その上で登録されていない場合は指定の振込口座を記載いただく。登録されている場合は公金受取口座あるいは、指定の振込口座を選択できるような仕組みが良いと考える。
⇒（事務局）ご意見のとおりであるため、記載の内容について見直しの検討をさせていただく。
⇒（厚生労働省障害部）ご意見の内容を踏まえ、また、デジタル庁と調整の上、現場の混乱が少なくなるような表現を検討したい。（検討課題一覧No323）

○生田座長

- ・標準仕様書【第2.0版】の策定に向け、細かな修正等は発生する可能性はある。修正内容が大きい

場合は構成員へ伝え意見をいただくことになるが、本日の意見を含め同様の内容については確認した内容を構成員に伝えるとし、座長に一任していただきたい。

- ・「障害者福祉システム標準仕様書【第2.0版】案」の決定にあたり、意見はあるか。

⇒（生田座長）疑義等はないため「障害者福祉システム標準仕様書【第2.0版】案」を決定とする。

以 上